

念佛の声

編集・発行：「御同朋の社会をめざす運動」岐阜教区委員会広報部

〒500-8882 岐阜市西野町3丁目1 電話(058)262-0231 FAX(058)263-7353

<https://www.hongwanji-gifubetsuin.jp/> E-mail:info@hongwanji-gifubetsuin.jp

2023(令和5)年6月1日発行 vol.248



「親鸞聖人御誕生850年・ 立教開宗800年慶讚法要」

- 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息 ②③
- 「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讚法要」記念
青少年教化推進者のつどいに参加して ④⑤

- お仏壇と莊嚴(仏事のこころ) ⑥
- 法話院んだらどうなるのか? ⑦
- 教務所(別院)からのお知らせ ⑧

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讚法要」の様子

さて、既にご承知の通り、本年一月十六日に、ご門主様から新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についてのご消息をご発布いたきました。そのなかで、「特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。」とお示しくださいました。ご消息のお心をうけて、できることを精一杯させていただきます。

本年度も、教区の活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、ご本山における親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讚法要是、多くの皆さまにご参拝いただき、無事にご満座をお迎えできましたこと、心からお礼申し上げます。

岐阜教区・本願寺岐阜別院におきましても、令和六年四月に、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讚法要をお勤めいたします。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

初夏の風が緑の森をさわやかに吹き抜け季節となりました。皆さまにおかれましては、平素から、御同朋の社会をめざす運動の推進にご尽力賜っておりますこと、誠にありがとうございます。



岐阜教区教務所長
御同朋の社会をめざす運動
岐阜教区委員会委員長
藤岡 大英

如燈風中

新しい「領解文」

(浄土真宗のみ教え)について

ご門主様は一月十六日、御正忌報恩講法要ご満座に続いて御影堂で「ご消息」を発布され、み教えの肝要が広く、また次の世代に伝わることを願われて、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を示されました。



(浄土真宗本願寺派HPより)

新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたします。このたびの慶讚法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念佛の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかつた人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、真実信心を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念佛者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるようないわゆる現代版の『領解文』というべきものが必要になつてきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といただいて
この愚身をまさす このままで
救い取られる 自然の淨土

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法燈を伝承された歴代宗主の
尊いお導きによるものです

み教えを依りどころに生きる者となり
少しずつ執われ的心を離れます
生かされていくことに感謝して
むさぼりいかりに流れされず
穏やかな顔と優しい言葉
喜びも悲しみも分かち合い
日々に精一杯つとめます

この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会で拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております。

令和五年
一月十六日

龍谷門主　釋　専　如



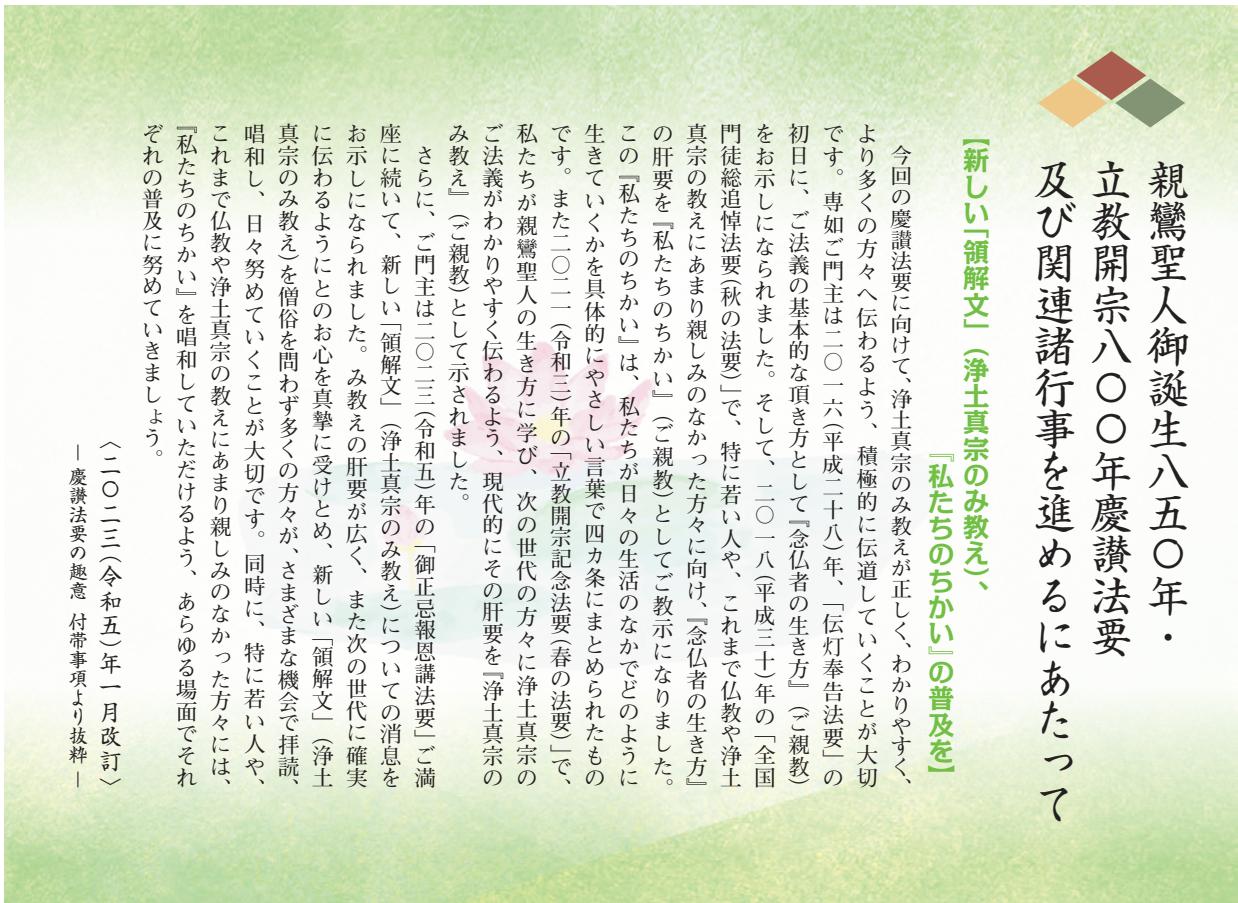
親鸞聖人御誕生八五〇年・ 立教開宗八〇〇年慶讃法要 及び関連諸行事を進めるにあたつて

【新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)、 私たちのちかいの普及】

今回の慶讃法要に向けて、浄土真宗のみ教えが正しく、わかりやすく、より多くの方々へ伝わるよう、積極的に伝道していくことが大切です。専如ご門主は二〇一六(平成二十八)年、「伝灯奉告法要」の初日に、ご法義の基本的な頂き方として「念佛者の生き方」(ご親教)をお示しになりました。そして、二〇一八(平成三十)年、「全国門徒総追悼法要(秋の法要)」で、特に若い人や、これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々に向け、「念佛者の生き方」の肝要を「私たちのちかい」(ご親教)としてご教示になりました。この「私たちのちかい」は、私たちが日々の生活のなかでどのように生きていくかを具体的にやさしい言葉で四カ条にまとめられたものです。また二〇二一(令和三年)の「立教開宗記念法要(春の法要)」で、私たちが親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々に浄土真宗のご法義がわかりやすく伝わるよう、現代的にその肝要を「浄土真宗のみ教え」(ご親教)として示されました。

さらに、ご門主は二〇二三(令和五年)の「御正忌報恩講法要」ご満座に統いて、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息をお示しになりました。み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わるようにとのお心を真摯に受けとめ、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々が、さまざまな機会で拝読、唱和し、日々努めていくことが大切です。同時に、特に若い人や、これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々には、「私たちのちかい」を唱和していただけるよう、あらゆる場面でそれぞの普及に努めていきましょう。

(二〇二二(令和五年)一月改訂)
—慶讃法要の趣意　付帯事項より抜粋—



青少年教化推進者のつどいに 参加して



岐阜教区少年連盟委員長
岐稻組・真願寺

醍醐
だいご
秀貴
ひでき

令和五年三月二十九日に御本山にて開催されました、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要記念「青少年教化推進者のつどい」に参拝させていただきましたので、慶讃法要を中心に報告させていただきます。法要は御影堂で執り行われ、全国から老若男女問わず、多くの方が参拝されました。法要是新制御本典作法第二種が執り行われ、新しく制定された作法ということで参拝者は皆食い入るように見ておりました。

雅楽の優美さや、新作法の新鮮さのなかに、伝供や行道といった従来の作法も取り入れられ親しみも感じられる法要がありました。最後には、ご門主様から御親教をいただきました。今回の法要を機に改めて、親鸞聖人のみ教えに出遇わせていただけたありがとうございました。今回のみ教えを拠り所として生活する中で、次世代を中心にも教えを正しく伝えていく大切さを実感致しました。





岐阜教区子ども・若者J繋ぐ会
推進委員会 副委員長
丸一組・福乗寺

安藤 勇哉
あんどう ゆうや

三月二十九日、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要参拝と青少年教化推進者のつどいに参加しました。法要後、別会場でレモンさんの講演会がありました。合言葉は「We are シンセキ!」と題し、「昭和の恐怖台詞集」「信頼の5つ星」「コーチング的6つの質問」など、昭和生まれで育ってきた時代から令和の時代に合わせた、話し方や表現の力を進化する除身力(よけみりょく)と言葉化力(ことばから)を教えてもらいました。特に印象に残ったことは「今こそお寺の出番です。追い風が吹いていることに気付いてください。」という言葉です。お寺は、老若問わず誰からも安心安全な居場所で在り続ける必要と責任を感じさせて頂きました。



お仏壇と荘厳



お仏壇には阿弥陀さまを敬う作法があります。なぜ?どうして?と作法を感じたことはありませんか?この度は、私たちが聞かせていただきお念仏の心を、お仏壇の荘厳(お飾り)をご縁に味わせていただきたいと思います。

ご法事で阿弥陀さまをお忘れでは?と感じることがあります。ご先祖をご縁として手を合わせていますが、お仏壇がご先祖をお祀りする場所になつていませんか?お仏壇の正面には、阿弥陀さまがいらっしゃいます。その両隣に親鸞聖人、蓮如上人。お二人とも阿弥陀さまの方を向いておられます。それは阿弥陀さまに「おまかせしましょ」と、共に救われるお念仏のみ教えを伝え、慶ばれたお姿とご覧になつていただきたいと思います。

視線を下げますと、灯明・仏花がありま

す。お参りをなさる時に仏花を供え灯明を点しますね。何気ない光景ですが、どちらも阿弥陀さまのおこころを聞かせていただく大切な荘嚴なのです。

例えば、明かりのない暗い夜道は、進む先が見えないので、不思議と不安に感じませんか?先を照らす明かりは、不安の心を解きほぐし、安心して進むことが出来ますよね。お仏壇の灯明は、先の見えない私の人生に不安で心が暗闇に襲われても「あなたの進む先を照らす光を与えます」という私に向けられた智恵の灯と聞かせていただきましょう。

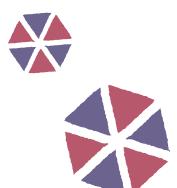
また、美しい花は、私たちの心を和らげ、心に潤いを与えてくれます。だから阿弥陀さまへの敬いや感謝の心の表れとして、お仏壇の仏花を供えますが、私の気持ちを贈るだけではなく、私が供えた

仏花は、そのまま私に「その気持ち届いています。あなたがいてくれて、ありがとうございます」と注がれる、阿弥陀さまの慈悲のおこころと聞かせていただきましょう。

親鸞聖人は、善導大師を讃える高僧和讃に、「信は願より生ずれば念佛成仏自然なり 自然はすなはち報土なり 証大涅槃うたがはず」とお示しくださいました。私に向けられる阿弥陀さまの願い(智慧と慈悲)のおこころをお仏壇の荘嚴作法より聞かせていただき、どうぞお念佛を慶び申す人生を、ご一緒に歩ませていただきましょう。



勤式儀礼振興会前理事長
岐稻組・安樂寺
本多 智昭



「そのまま」と「このまま」の違い



法話によく出てくる「そのままのすくい」という言葉について、ある御門徒さんから「浄土真宗はこのまま何もしないんですか？そんな楽でムシのいい教えなんですか？」と尋ねられたことがあります。この質問について考えたいと思います。

この質問は「そのままの私」と「このままの私」を混同しているところに問題があります。「そのまま」は「その」+「まま」、「このまま」は「この」+「まま」に分解できます。「その」は相手側、「この」は自己側の物事を指します。「そのままの私」とは相手側から見た自覚できていない私の姿です。対して「このままの私」は私側から見た自覚している私の姿です。両者には自分の姿を自覚しているか否かという大きな違いがあります。

数年前のお盆参りの時、朝寝坊した私は少し慌てて家を出ました。お盆は予定が立て込んでいます。1件目の御

門徒さんのお参りが終わり、次のお宅へ向かうために車に乗り込もうとした

時、自動車のガラスに映った自分の姿を見て愕然としました。なんと衣を裏表逆に着ていたのです。

その時は「教えてくれたらいいのに」とも思いましたが、きっとその御門徒さんも困惑され、どうしたら良いか迷われたと思います。でも今改めて考えるとやはりありがたいことだったと思います。それは、裏表逆の衣を着た「そのままの私」を受け入れてくださった御門徒さんから、どのような私であってもそのまま受け止めてくれる阿弥陀様の視点を教えられたからです。

対して自動車のガラスは「このままの私」をありありと見せてくれました。七高僧のおひとり、善導大師に「これ経教はこれを喩ふるに鏡のごとし」という言葉があります。仏法は鏡のように「このままの私」を知らせてくれます。その姿

を知らされれば直さずにはおれなくなります。

仏法の鏡の前に立つことがお聴聞です。それは私のありようを問わない阿弥陀様の視点をいただくことであり、同時に恥ずかしい「このままの私」を知らされることです。「そのままのすくい」とは何もしなくていいことでも、これまでいいんだと開き直ることでもありません。阿弥陀様の眼差しをいたします。それは、裏表逆の衣を着た「そのままの私」を受け入れてくださった御門徒さんから、どのような私であってもそのまま受け止めてくれる阿弥陀様の視点を教えられたからです。



本願寺派布教使
岐稻組・大願寺

河野 雅樹

ラジオ番組「こころの窓」

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇

年慶讚法要を機縁にして、三月から毎週日曜



日午前七時から十五分間ラジオ番組「こころの窓」をスタートいたしました。新型コロナにより、人々の暮らしが大きく変わり、社会に不安が広がる中、仏教を通して、心豊かに暮らすことができるようになると仏教の教えをわかりやすく届けます。藤岡大英輪番と稻岡教順副輪番が交代で出演しフリーアナウンサーの篠田陽子さんと対談形式で進め、リスナーからの質問にも答えていきます。

放送後には、YouTube本願寺岐阜別院チャン

ネルで配信され、聞くことができます。また、

本願寺岐阜別院入口受付のモニターでも聞くことができますので、ぜひお越しください。

本願寺岐阜別院チャンネルで 布教配信が始まります



本願寺岐阜別院チャンネルで
布教配信が始まります

ここ数年の新型コロナ禍における法座の制約やインターネットの普及に鑑み、また、門信徒のみならず多くの方にご法義を聴聞していただく機縁とするため、本願寺岐阜別院ホームページYouTube本願寺岐阜別院チャンネルより、布教の動画配信を行うこととなりました。

今回の布教動画は、新型コロナ禍の制約を受けた、教区内寺院の各種法座においても、動画視聴によるお取次ぎとして提供できればと思います。是非とも、ご視聴いただると共に、有縁の方々にもご紹介いただきますようお願いします。

宗門では、自他共に心豊かな社会をめざす取り組みの一環として「子どもたちの笑顔のために募金」を行っています。この募金は、国外では海外にある西本願寺の関係機関などと連携して、貧困に苦しむ子どもたちを支援します。また、国内では子ども食堂や学習支援などの活動、児童養護施設などで暮らす子どもたちのために活用いたします。



「子どもたちの 笑顔のために募金」のお願い

配信開始
本願寺岐阜別院ホームページ
YouTube本願寺岐阜別院チャンネル

2023(令和5)年5月下旬

● ● ● 期 日 8月1日(火)～3日(木)
時 間 午前7時～8時30分
場 所 本願寺岐阜別院 本堂
郵便番号 ○○九四〇・八・二八二七六六
座名 郵便振替
口座番号 ○○九四〇・八・二八二七六六
※ 教区や組単位での払い込みの際は、教区名・
組名を明記してください。
領収書名を明記してください。
「子どもたちの笑顔のために募金」

● 構成／広報部
● 印刷／ヨツハシ株式会社 岐阜市黒野南一九〇
● 詳細は、本願寺岐阜別院までお問い合わせください。